

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民活動普及啓発事業			
事業担当	市民部 協働推進課			
事業種類	○ハード ●ソフト			
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち		
	'02	②〈市民力〉 市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる		
	'01	1 地域を支える活動に参加する意識を高める		
根拠法令等	平塚市市民活動推進条例、ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例			
対象・受益者	市民・市民活動団体	事業期間		
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】			
目的・目標		事業の概要		
社会を構成する市民・団体・各種組織が、市民活動に積極的に参加し、地域課題の解決などに取り組んでいます。		市民活動の活性化に向け、市民活動センターを活動拠点とし、各種講座の開催や関連情報の収集・発信を行います。		

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	各種講座等開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	18	20	22		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
成果指標①	指標名	ひらつか市民活動センター利用者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	47975	47634	49442		
成果指標②	指標名	ユースボランティア参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	170	137	58		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
市民活動の普及と市民活動団体のスキルアップを目的とした講座の開催や、団体の情報提供に努めるとともに、分野別部会、交流会等を開催し、団体間の連携を促進しました。また、青少年向けの「ユースボランティア」、シニアを始めとする一般市民向けの「ボランティア博覧会」等、市民活動やボランティア活動への参加のきっかけづくりを行いました。また、高校入試制度の変更等もあり中学生の参加者が大幅に減少しました。						
平成24年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民活動の拠点を充実させ、市民活動が活発に行われることは、市民と市との協働事業の進展につながります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民活動が活性化され、自主的に地域の課題に取り組む市民が増え、互いに支えあう地域社会が形成されます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	団体のニーズに合わせた知識の習得や、情報の提供を目的とした講座の開催は、市民活動の活性化に必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	タイムリーな情報提供を行ったり、市民ニーズに合わせた講座を開催していくことで、市民活動の普及と活性化を図っています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		市民活動団体間の連携を進め、団体間の意見集約や団体からの相談を受けられる体制を整えるため、市民活動センターの機能強化に努めるとともに、市民活動やボランティア活動を市民へ広く知ってもらい、活動への参加促進に繋がるようPRする必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	1,006	1,069	2,358	1,124
	一般財源	14,506	15,151	15,001	15,056
事業費 (A)		15,512	16,220	17,359	16,180
執行率 (%)		94.40	96.60	95.81	
内訳	職員 (人)	0.85	0.85	0.85	0.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,021	6,889	6,813	6,756
フルコスト (A+B)		22,533	23,109	24,172	22,936

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	市民活動情報の収集やホームページ等での情報発信の充実を図るとともに、市民や市民活動団体のニーズに合った講座の開催、さらに、市民活動団体間や地域、行政との連携を進め、市民活動センターの機能強化を進めていきます。また、ボランティアを体験する事業への参加促進のため周知とPRに努めます。
課長コメント	市民活動団体は、新たな公共の担い手として、社会課題に取り組んでおり、その活動支援については非常に重要で、今後とも充実を図っていきます。